

平成24年行政事業レビューシート

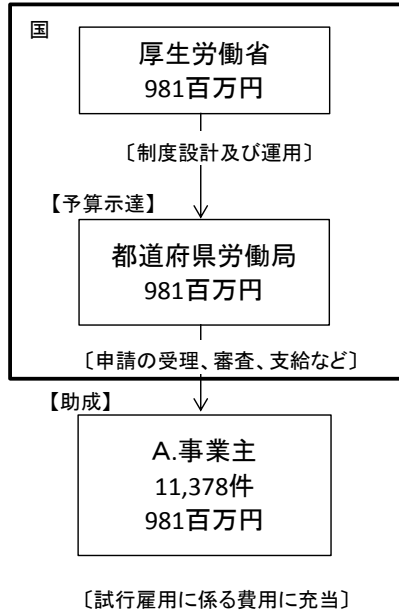
(厚生労働省)

<b>事業名</b>	障害者試行雇用奨励金		<b>担当部局</b>	職業安定局高齢・障害者雇用対策部	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成11年度(開始)・終了年度未定		<b>担当課室</b>	障害者雇用対策課	障害者雇用対策課長 山田 雅彦			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	II-1-3 高齢者、障害者若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-		<b>関係する計 画、通知等</b>	重点施策実施5か年計画(平成19年12月15日障害者施策推進本部決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)</b>	短期間の障害者の試行雇用を通じ、障害者の雇用に対する理解を促進するとともに、障害者の業務遂行の可能性を見極め、試行雇用終了後に常用雇用への移行を進め、就業機会の確保を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	実際の職場に障害者を短期の試行雇用の形で受け入れてもらい、事業主の障害者雇用に対する理解を積極的に推進するとともに、障害者の業務遂行の可能性を見極めることにより、一般雇用への移行を促進する。試行雇用は3か月間とし、事業主と対象障害者との間で有期雇用契約を締結する。ハローワークの紹介により、試行雇用を実施する事業主に対して、対象障害者1人当たり1か月4万円の奨励金を支給する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予 算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	1,072	994	864	883	439	
		繰越し等						
		計	1,072	960	864	883	439	
	執行額	768	1,005	981				
	執行率(%)	72%	105%	114%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	試行雇用開始者数				8,545	10,650	11,378	9,000
			達成度	%	90	118	126	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	成果指標と同じ				8,545	10,650	11,378	-
					9,500	(9,000)	(9,000)	(9,200)
<b>単位当たり コスト</b>	86,219(円/人)		算出根拠	H23執行額(981百万円)÷H23トライアル雇用開始者数(11,378人)				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	助成金	883	438.6	奨励金の対象について、より必要な者に支援すること等の見直しを行ったことによる適正化				
計	883	438.6						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、広く国民ニーズ及び優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	本事業は、国が行う職業紹介や雇用対策(障害者の雇用率達成指導)と一体的に実施しているものであるため、本事業の実施については、国が実施する方が効率的かつ効果的。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	事業主の負担を考慮した必要な経費の支給となっており、水準は妥当と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	一定の基準に基づき、ハローワークが必要と認める者に対して実施している。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業主の障害者雇用に対する理解を促進することにより、障害者の就業機会の確保につながっており、成果目標も上回っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	平成22、23年度と成果目標を上回り、着実に向上している。
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	精神障害者等ステップアップ雇用奨励金は、長時間労働が困難な精神障害者等に特化して、原則週20時間未満の労働時間の試行雇用を行う制度であるのに対し、本事業は障害者全般に対して原則週20時間以上の労働時間の試行雇用を行うものであるため、適切な役割分担となっている。
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>試行雇用開始者数は高い水準で推移しており、事業主の障害者雇用の理解の推進に関し、非常に有効な施策となっている。今後も引き続き、目標に対する達成度等を勘案し、制度の適正な運用を図ることが必要。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>障害者試行雇用奨励金は概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
	<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>		
—	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			
平成22年行政事業レビュー	361	平成23年行政事業レビュー	327

※平成23年度実績を記入

※金額は平成23年度実績



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)(単  
位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目  
 と使途の双方で  
 実情が分かる  
 ように記載)

A.事業主			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
助成金	事業主に対する助成金支給	981			
計		981	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A社	障害者試行雇用奨励金	6		
2	B社	障害者試行雇用奨励金	5		
3	C社	障害者試行雇用奨励金	4		
4	D社	障害者試行雇用奨励金	4		
5	E社	障害者試行雇用奨励金	4		
6	F社	障害者試行雇用奨励金	4		
7	G社	障害者試行雇用奨励金	3		
8	H社	障害者試行雇用奨励金	3		
9	I社	障害者試行雇用奨励金	3		
10	J社	障害者試行雇用奨励金	3		